

研究計画書

ゼミ名	森ゼミⅡ	チーム名	チームとんかつ
タイトル	行動経済学		
テーマ群	a)理論・情報		
メンバー	稲岡直哉 大路健登 大塚一樹 大西舞 木村彰吾 坂口諒太 櫻井久美 定森知里 眞田友希 城森賀朗 高橋伸一朗 田中健志 中雄哉 西越あずさ 春長淳一 平川直弥 森廣篤史 吉田拓人		
研究計画内容	<p>人間は無意識にほとんどの行動を行っている。</p> <p>私たちは、自分の行動をほとんど知りません。私たちは自分自身の行動そのものを、ほとんど認識していません。</p> <p>一番の理由は、ほとんどの行動が無意識で行っているからです。</p> <p>最もわかりやすいのが呼吸。呼吸もある程度は意識的にコントロールできますが、普段から呼吸を強く意識している人はまずいません。呼吸に限らず、生命維持にかかわる行動のほとんどは意識的にコントロールできないものばかりです。</p> <p>また、「意識的だ」と思っている行動さえも、たいていの場合あまり考えずに行っているものです。毎日の食事や歯磨き、通勤・通学などの行動は意識して行っているようで、実際にはあまり考えずに行っていることがたくさんあります。</p> <p>私たちは意識された行動には気づいていますが、無意識の行動についてはリアルタイムには自覚していません。私たち森ゼミ生は、この意識されない行動を人間の「不合理な行動」として理解する行動経済学を学んでいます。</p> <p>例えば、左側の絵を見てください。100円と200円のみかんがあった場合、あなたの目の前でほとんどの人が当たり前のように200円のみかんを買っていたら「なぜ、みんな200円のみかんを買うのだろう？」と思いませんか。そして、なんとなく「私も200円のみかんを買おうかな」と思うのではないのでしょうか。</p> <p>このような、私たちの身近な行動の中の「不合理な行動」の謎を一緒に解き明かしていきましょう。</p>		